

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 26日

事業所名 ぷっちいさらだ

保護者等数(児童数)21名 回収数 19名 割合 90%

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3			少し狭いと思われる。	児童館などの他施設活用や将来的に増設などを検討し、広い空間での活動提供を行いたい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	5				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	19					
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	19				おやつ作りや色々な遊びがあったり工夫されている。お家でもお手伝いするようになった。	お子さんの心身の成長・意思に沿った活動・支援に努める。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	6	3	1	コロナ禍であり、難しいと思います。必要ないと思います。	コロナ禍が解消されれば、交流を兼ねた活動の機会を提供していきたい。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19				些細な事でも伝えてくれるので、共有は出ています。学校・家庭・事業所、それぞれの子供の様子を共有するように努めています。	児童の課題や状況に対して、共通理解を今後も深めていきたい。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	12	3		コロナ禍で難しいと思います。解消されれば、またクリスマス会などがあればうれしいです。	今年度は、親子交流を兼ねたクリスマス会は開催できなかったが、コロナ禍が解消されれば開催を検討したい。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19				気になる事があれば連絡すると、直ぐに説明してくれるので安心です。	ご意見や気になることを連絡頂ければ、迅速かつ丁寧に対応できるように今後も努めてまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1				

	14	個人情報に十分注意しているか	18	1			
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	3	1	感染症対応については、知っているが他は知らない。	各マニュアルは整備しています。保護者の方々への周知については、契約時以外の場面でもお伝えする。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	6	1	1 訓練があったことは認知しているが、内容までは知らない。	消防署の方に派遣を依頼し、職員のみで年に1度総合訓練を実施している。それを踏まえ、職員と児童合同で避難訓練を年に2度実施している。内容はお知らせ・連絡帳で周知していた。今後は、お知らせを配る回数を増やしたり、HPで様子を周知する。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16			3	
	18	事業所の支援に満足しているか	16			3	

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。